



アクテノン

NO. 68

名古屋市演劇練習館機関紙

おかげさまで演劇練習館は15周年を迎えます!!

名古屋市演劇練習館アクテノンは、名古屋の演劇関係者の要望を受け、国内でも数少ない舞台芸術の練習専用施設として平成7年に開館し、今年の12月1日で開館から15周年を迎えます。これもひとえに演劇関係者をはじめ、全国のアクテノンを愛する皆様の温かなご支援の賜物と深く感謝しております。

開館当初は、演劇・音楽・舞踊等の練習利用がほとんどでしたが、今では文化芸術団体だけでなく、様々なジャンルの方々にもご利用いただいております。利用者数はのべ60万人に上ります。また、近隣の学校や福祉施設等とも連携を図り、地域の皆様と共に様々な事業を実施しております。

これからもより一層、多くの方に愛され親しまれる施設を目指してまいります。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

名古屋市演劇練習館(アクテノン)

名古屋にこんな時もあった



もう十五年経ちましたか。沢山の方々にちゃんと利用されての十五年ですから、本当、うれしいですね。

十七・八年前のことだったと思います。

当時の西尾名古屋市長さんと、ある建築新聞の正月対談をしたのがきっかけで、水道塔が日本で初めての演劇練習館に変わったのです。「そうですか、稽古だけの施設がほしいのですか。」と大きく頷いて西尾さんが帰られて一ヶ月後ぐらいに電話がありました。

“ドイツにやっぱり水道塔だった施設が、今ホテルで盛業中なので見学に行く”
“え？ホテル？。ドイツ？。え？ドイツへ行けるの？”と僕。練習館でなくてホテルの見学？と一寸気にはなりながら、ドイツへ行けるのかとワクワクしてたのを思い出します。

でも、職員の方だけ行かれたようです。残念！

しかし、演劇練習館にさせていただいて、僕も初代の運営委員の末席を汚しました。そこで早速言い出したのが、アクテノンの外縁を使って野外劇フェスティバルをやろうという事でした。その時頭にあったのは、ニューヨークのセントラルパークで毎年夏、ニューヨーク市民を無料招待して“シェークスピア・フェスティバル”をしていた演出家の故ジョセフ・パップさんの事でした。勿論、アクテノンの玄関が主舞台ですが、公園のあちこちも使ってシェークスピア全作上演なんて出来ませんかねえ。

天野 鎮雄 (劇座代表、俳優)

故ジョセフ・パップさんはニューヨークから選ばれて、古くなった図書館を劇場に変え、そのパブリック劇場をまかされて「コーラス・ライン」を作り観光客を世界中から集め、ニューヨーク市に莫大な利益をもたらした人です。

われらの先輩故金田龍之介さんが、飛騨高山の千光寺の境内で円空さんを演ずるといので、以前ふじたあさや作・演出の「聖と俗」という作品で円空を演じた僕としては、何をかおいても見に行ったのでした。日が暮れて裏山から円空さんが降りて来る。照明が当たってそれはキレイでした。

今年は、仲代達矢さんが能登演劇堂で、ホリゾントを開けると自然そのものが舞台装置になるという「マクベス」を演じたのも見るにつけ野外劇フェスティバルと思うのです。静岡のように野外劇場がちゃんとない名古屋で、隣のアパートの人達さえ説得出来ればなあと思っています。目玉になると思いませんか。

堀川の川端や、船を使っておもてなし隊を使って時代劇を演じ乍ら名古屋港まで行くと名古屋まつりも良いですが、何かもう一寸発展させられませんかねえ。

水から心への不思議



アクテノンは1937(昭和12年)年から1944年まで名古屋市の上水道の配水塔であった。以降、倉庫、図書館と利用された後、1995(平成7年)年にアクテノンに化身した。この12月で開館15周年を迎えるが、この間名古屋の文化、特に舞台芸術の振興に大きく貢献したことは疑いない。

開館当時、古代ギリシャの円形神殿を想起させる建物の外観(今年の名古屋開府400年記念事業で“どえりゃあ魅力賞”を受賞)もさりながら、働きながら作品を創る人たちのために深夜まで利用可能にした全国でも初めての先駆的な稽古場が実現し、

河野 光雄 (名古屋演劇ペンクラブ理事)

マスクミ取材や行政の担当者の視察が後を絶たなかったことを思い出す。

開館前後、アクテノン運営委員長を務め、諸事に関係した者として今日の成果を目の当たりにすると、感慨無量のものがある。これからも生存のためには一日も欠かせない水道水のように、舞台作品を通じての豊かな心の供給地であり続けて欲しい。また、水が氷や水蒸気に変身するように、舞台芸術の自在さも無限である。上水を供給した配水塔が、心の配心塔に化身した不思議を改めて思う。

そして、明日からも



15周年おめでとうございます。いつも私たち演劇人を厚遇していただきありがとうございます。開館以来変わらぬ事務所の皆さんの利用者への親切な対応に心から感謝申し上げます。

人と言えば思春期、青春の始まりですね。

夢と希望と不安で物思う年頃でしょうか。私がこの建物に初めて入ったのは中学生の頃、当時は中村図書館で、友達と一緒に来て少し大人になった気がしたものです。

地元の方にも思い出の深い場所ですね。演劇練習館になった時は本当にうれしかった。現在、舞台表現を志す者の稽古場としては勿論、いろいろな教室にも利用されて、各

江崎 順子 (劇団・夏蝶、俳優)

地から幅広い年齢層の方が出入りされています。ここには、たくさんの方のたくさんの思いが日々積み重なっています。恒例になったフェスティバルや参観日などの催し物に、多くの方が参加し、見に来て下さるのも、アクテノンが愛されているからでしょう。ここでの経験やめぐり合いは、私にとっても宝物です。

これからもアクテノンが、創造の場として、また、新たな出会いの場としての役割を担って下さることを期待しています。今後ともよろしくお願い致します。

この度15周年を迎えるにあたり、開館当初からご利用いただいている皆様に、代表してメッセージをいただきました!

「ウチが最古参?」

棚橋 真典 (劇団サラダ代表)



劇団を立ち上げて一年後。まさかあの旧配水塔が演劇の施設になるとは夢にも思わなかった。旗揚げ公演を終えたころ、稽古場探しに苦労していた我々は、顔を見合わせて喜んだ。同朋大出身の私にとって、馴染んだこの町にアクテノンができた。「ここが、これからが、あらためた俺たちの出発点になる…」

緊張して申込み抽選会に行ったこと。ピカピカの稽古場。ライトアップされた美しい景観。今でもはっきり覚えている。そのどれもが、演劇を目指した私に、誇りと未来を与えてくれた。「複合施設に間借りするのではない、『演劇』練習館だぞっ!」以来アクテノンしか使っていない。あれから共に15年。望むことがあるとすれば、これからも演劇人を支え、ここにあり続けてほしい…。

「演劇練習館アクテノンを知って」

犬飼 幸光 (犬飼幸光とザ・ココナッツ)
(元ミノルフォンレコード専属)



私プロの歌手を辞め昭和から平成にかけトラックの運転手をしている時、突然昔高校時代の親友が現れ、今アクテノンと言う所でハワイアンバンドを練習しているから来ないかと誘われました。私はそのアクテノンと言う所に向きました。そこは昔の水道公園と知られていた館でした。そこが演劇練習館になっているとは知りませんでした。練習している室に入ると、何とそこには大きなPA機がおりてあり、マイク4本を立て練習しているではありませんか。何と設備の良い室だなーと思った。すぐにグループに入り歌を唄い、そこに又はまってしまい月一、二回の練習で今に至ったと言うことです。そしてその間にいろいろなお話があり、今はすばらしいメンバーで月に一、二回の練習で心を発散させて癒しているのです。又年に一度のアクテノンフェスティバルに向けて練習しています。皆様も一度この練習風景を見に来て下さい。お待ちしております。

「アクテノンと共に歩んで来た舞踊活動」

寺原 幸 (舞踊家)



そう!!そうですね。早いものでもう、15年もたったんですね。「演劇練習館アクテノン15周年、本当におめでとうございませう。そして、有難う!!」と声を大にして心から申し上げます。地元で活動している、ミユキ・ダンス・アフィにとってここアクテノンは、母なる大地(母胎)と言ってもおかしくない位に、多くの作品を創り続けて来た場所でもあり、それは今でも変わりは、ありません。そして毎年、季節事に行われている、アクテノン主催事業では多くの素敵な出会いもあり、心を動かされる事はばかりで、感謝しています。演劇練習館と名前が付いていますが、近年では舞踊・音楽・異ジャンル・他県のグループの利用も増えて来た様で、とっても嬉しく思っています。今後、ここ名古屋中村のアクテノンから、新しい芸術が生まれ発達して行ける場として、有り続けて行く事を、望み、応援して行きたいと思っています。

「アクテノン パンザーイェ♡」

「アクテノンと恋」

松尾 有香 (作家・演出・役者)



十五周年、まずはおめでとうございます。アクテノンがなかった頃の稽古場といえば、高架下・知人の倉庫・バイト先の喫茶店などでした。ですのでホームレスのおじさんに煙草をねだられたり、茶色い羽の虫がいつ襲撃してくるかと思えながら稽古していたような。当時を思えば、今はまさに天国です。空調・トイレ・電源完備。部屋はキレイ。これで面白い芝居を創らなきゃ、バチが当たりますですよ。はい。

アクテノン様。いつまでも恋が始まったばかりの男女が抱く幻想のような、お互いそのままの変わらないあなたでいて。ウフ。みたいな。そんな甘っちょろい関係で、いさせてくださいませ。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>テラ・インコグニタ take:03 『ヒトはどこまで神様か?』</p>	<p>① 七ツ寺共同スタジオ ② 12月3日(金) 8:00、4日(土) 1:00 6:00、5日(日) 11:00 3:00 ③ 前売一般 2,300円(当日 2,500円) 前売大学生以下 1,800円 ペアチケット 4,000円 ④ terra_geki@yahoo.co.jp (090-9178-9199) スピリチュアルブームに湧く2010年ラストに描く、新宗教のカラクリと、女の一生。</p>
<p>劇団オートバイ #12公演 『Sweden』</p>	<p>① 七ツ寺共同スタジオ ② 12月18日(土) 2:00 7:00、19日(日) 11:00 3:00 ③ 前売 1,500円(当日 1,800円) ④ ☎080-5154-3853 (オオノ) 七ツ寺が空になり、海になります。大きいようで小さな日常をお送りします。</p>
<p>44口径マグナム #2 『曲がれ!スプーン』</p>	<p>① 翔UPファクトリー ② 12月25日(土) 3:00 7:00、26日(日) 11:00 3:00 6:00 ③ 前売 1,500円(当日 2,000円) ④ yon2magnum@yahoo.co.jp クリスマスにぴったりのお芝居です!!</p>
<p>劇団木彫の熊 第7回公演 『闘将妃』</p>	<p>① 名古屋市北文化小劇場 ② 平成23年1月15日(土) 7:00、16日(日) 1:00 5:00 ③ 前売・当日精算共 1,000円 ④ ☎090-9942-7221 なんだかんだで2年振りの公演です!劇団的に色々新しい試み満載です。乞う御期待。</p>



編集発行/平成22年11月25日(年4回)
 (財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

